

研究授業⑥

<単元名> 生活科

「むかしからつたわるあそびをたのしもう」

<単元の目標>

昔から伝わる遊びの遊び方やコツなどを身近な人から教わったり、一緒に遊んだりする中で、身近な人と関わることのよさに気づき、進んで交流することができるようにするとともに、昔遊びについて考え、自分の伝えたいことを相手に伝えることができるようにする。

<学習の様子>

昔遊びを楽しみながら、遊びの名人になるために、友達に聞いたり教えたり姿が見られた。体育館という広い場を使って、上の級を目指そう、名人になろうと、練習をしていた。振り返りの時間には、友達と教え合った様子を話し、楽しかったこと、嬉しかったことを伝えていた。



<成果と課題>

- 広い空間、昔遊びの技のコツカード、技のレベルを示した級カードなど、学習環境のよさが、児童の意欲にもつながっていた。
- 学習の中盤に、児童を集合させ、本時のめあてを意識した姿を取り合げたことで、個人で昔遊びを楽しんでいた児童も、教え合いを始めることになり、学習活動が活発になってよかった。
- 振り返りカードには、今日の活動の感想を自分の言葉で書けるようにさせたい。「たのしかった」「できた」だけではなく、「〇〇ができるようになって、たのしかった」や「ともだちに△△をおしえてもらえて、うれしかった」など、具体的な表現を少しずつ身に付けさせたい。